

## 2. 作物（水稲・畑作物・果樹等）関係の技術・営農支援情報

# 管理作業の省力化と幼木期の未収入期間の短縮に 資する省力樹形樹種別栽培事例集

1. 令和6年能登半島地震により、一部の果樹園で損壊が認められています。本資料では、果樹園での新植・改植に際し、省力的な管理が可能で密植による早期成園化が期待できる樹形を紹介します。
2. 農研機構と公設試が連携して、わが国における主要果樹（9樹種）を対象に、樹形を平面に近づけて管理作業が省力化できる樹形を開発し、導入法や効果、導入経費などを取りまとめています（図1、表1）。



(参考URL)

[https://www.naro.go.jp/publicity\\_report/publication/pamphlet/tech-pamph/138903.html](https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech-pamph/138903.html)

図1 省力樹形樹種別栽培事例集

表1 省力樹形樹種別栽培事例集に掲載の樹形と対象樹種

| 省力樹形        | 対象樹種                            | 年間労働時間<br>削減率 (%) ※ |
|-------------|---------------------------------|---------------------|
| Y字樹形        | ブドウ                             | 22.5                |
| 超低樹高Y字樹形    | クリ                              | 20.9                |
| わい性台木主幹形仕立て | カキ                              | 22.2                |
| ジョイントV字トレリス | カキ、ニホンナシ、リンゴ、セイヨウナシ、<br>モモ、オウトウ | 10.0~38.2           |
| V字仕立て（高樹高）  | モモ                              | 22.7**              |
| 双幹形仕立て      | ウンシュウミカン・中晩生カンキツ                | 12.0~23.1           |

※樹種・品種や導入する技術の組み合わせにより削減率が異なります（省力樹形栽培事例集参照）

\*\*収量当たり削減率

問い合わせ先：農研機構 果樹茶業研究部門広報担当 029-838-6451